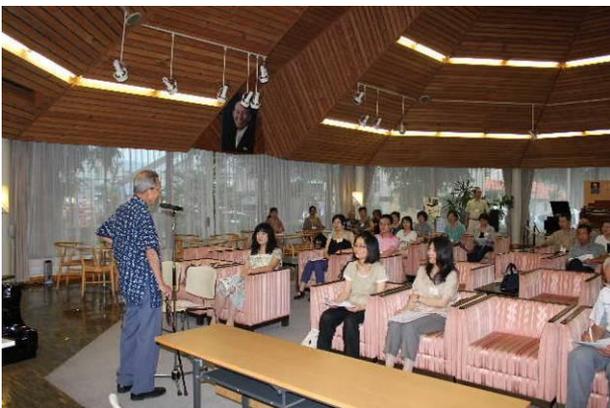


# 交流

発行日:平成22年9月1日 第8号  
福島日中文化交流会 事務連絡先  
〒960-0613 福島県伊達市保原町字内町21-5  
Tel/Fax 024-575-2071 携帯:090-2360-3275  
Email:mayumi\_mihojp@yahoo.co.jp  
URL:http://www.rizhongwenhua.com

## 平成22年度定期総会開催 友情、融和の日中文化交流活動 の更なる発展

福島日中文化交流会の平成22年度定期総会は、6月26日午後5時30分より古関裕而記念館で開催されました。今回は会が発足して3回目の総会で、斎藤佐久男副代表幹事の司会のもと、まず顧問の高橋重夫さんがあいさつ「先日、青年時代に上海留学時の同級生のお誘いを受けて、妻と上海万博に行ってきたが、中国のインフラ発展には驚かされました。又、特に若者のグローバル化、市民意識の変革には目を見張るものがありました。又、バス等で席を譲る、妻の怪我に自然と対応する態度はかつてのイメージを払拭するものがありました。本会の目的である〈身の回りから日中文化交流活動を楽しんで行こう〉のモットーを大切に更なる会の発展を祈念致します」と話されました。



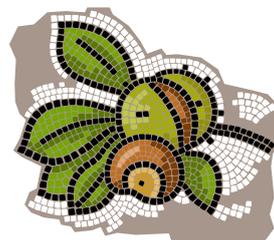
続いて岩間真弓代表幹事から、「皆様、本会を支えて頂きまして感謝申し上げます。本年度は中国人の会員も増

加し全体で95名と発展しました。平成21年度の活動では中国語会話教室、日本語教室、又、中国人との中秋節交流会、上海小学生30名のホームステイ受け入れ、芋煮会、花見、スキー、結いフェスタ参加、大連へ中国学習団の実施、他、多くの中国人との交流会を持ちました。本年度は①友情、融和を大切にしたい②中国人の会員が増加すること③会員は年齢幅が大きいのでバランスを保ち、仲良く活動することを目指したいと思います。と述べられました。

猪股宗男さんが議長を務め、第3回通常総会は委任状36人、出席36人の計72人で、会員95人の過半数を超えて総会成立を確認しました。

議事審議に当たっては、岩間真弓代表幹事が平成21年度活動報告、決算説明、福島富士雄監事が監査報告、岩間真弓代表幹事が平成22年度活動計画と予算案を説明承認されました。(総会資料参照)

その他、岩間真弓代表幹事から「中国学習団はアモイを予定していましたが、本年は諸事情により中止と成りました」と説明がありました。



(加藤一朗 記)



——満話乱書——

## 戦時中の唱歌「野菊」

新聞の全面広告に《映像で綴る美しき日本の歌》として、DVDビデオ全8巻128曲の題名と、映像の地名が載った。それには大きな活字で**歌声と映像で蘇る…ああ幼き日々、夢、青春、そして故郷**とあり、また宣伝文句がいい。《涙あふれる懐かしき歌と風景が、ビデオでたっぷり味わえます》とあって、私らの年代には堪らない。

中身は「早春賦」で始まる唱歌、童謡が5巻80曲に、叙情歌「花の街」「春の唄」と続き「心の窓に灯を」まで、殆ど唄える歌3巻48曲である。むかし日本コロムビアから売り出された「山のけむり」「北上夜曲」など『叙情歌謡ベストヒット』のLPレコードには飛びついたが、今回は、この歳で今更という思いと、淋しい懐具合から断念した。

この128曲の中で私の目を引いたのは、唱歌「野菊」があったことだ。一昨年、古閑裕而記念館における総会後の余興で、私は下手なハーモニカを吹いたが、その時「戦時中の昭和17年の文部省唱歌に、こんないい歌があるんです」と一言加え、初等科音楽2から「若葉」を選び吹奏した。

「若葉」はこの128曲にはなかったが、同じ戦時下の初等科音楽1(国民学校3年生用)の中の「野菊」が取上げられていたのである。下級生が習うこの歌は、教室の窓越しにすぐ覚えられた。

×

戦後は、戦争とは全く無縁の歌詞なのに、戦時中の文部省唱歌ということで冷たくあしらわれ、あの由紀さおり・安田祥子が歌うアルバムリストにも入っていない。「野ばら」があって日本の秋を彩る「野菊」がないのである。何としたことか！

作詞の石森延男は、文部省教科書監修官として時代の戦意高揚に背を向け、軍の圧力に屈せず、この歌を世に送り出した人であり、作曲の下総皖一は、当時文部省教科書編集委員で「たなばたさま」や「蛍」など、多くの童謡、唱歌を手掛けた人である。

(注、平成10年11月の読売新聞うた物語参照)前置きが長くなった。早速歌詞(1番、2番)を旧仮名遣いのまま紹介しよう。

1. 遠い山から吹いて来る  
こ寒い風にゆれながら、  
けだかく、きよくにほふ花。  
きれいな野菊、  
うすむらさきよ。
2. 秋の日ざしをあびてとぶ  
とんぼをかるく休ませて、  
しづかに咲いた野べの花。  
やさしい野菊、  
うすむらさきよ。

この歌は、二十歳の時に読んだ歌人伊藤左千夫の小説「野菊の墓」と、昭和30年に映画化された木下恵介監督の「野菊の如き君なりき」と重なり、歌を口にするたび小説の《民子は決して粗野ではなかった。可憐で優しくて品格もあった》民子を思い浮かべてしまう。そして、2歳とし下の政夫と、山の畑に綿摘みに行く道のシーン、「まあ、きれいな野菊、私本当に野菊好き」すると政夫が「道理で。民さんは野菊のような人だ」と呟く――。

この場所は、松戸に近い旧矢切村で、ビデオの風景は「長野県美ヶ原高原」とあった。これは仕方がないことだが、せめて作曲者下総皖一の故郷利根川べりの埼玉県大利根町であって欲しかったと思う。

×

かつて私の転勤の送別会で、司会者に名指しされ「野菊」を歌った娘(こ)が居た。唄い終わって彼女にジュースを注ぎながら「いい歌唄ってくれて有難う」と礼を言うと、「ほんとですか？ あーよかったァ」とにっこりした。いま思えば、厭味とか憎気のない民子のような女性だった。あれから幾十年、その後のことは全く不明である。政夫との仲を断たれ不幸に終わった民子と違って、幸せであってほしいと願う。何故なら彼女は私生児で、人事は私の管轄ゆえに知り得たことであった。

# 鍛冶光子さんの ピアノ演奏に酔う

福島日中文化交流会総会の記念演奏  
6/26・古関裕而記念館



重厚、荘厳な偉容を誇る古関裕而記念館。福島日中文化交流会総会は毎年この記念館で開催され、そして毎回、記念コンサートが行われています。

今年は6月26日、この古関裕而記念館の一階サロンに、すばらしいピアノソロ演奏がダイナミックに響きわたり聴衆を圧倒しました。桜の聖母短期大学非常勤講師のピアニスト、鍛冶光子さんの記念演奏です。演奏曲目は、①バダルゼフスカの



「乙女の祈り」、②プッチーニのオペラ「トゥーランドット」より

「誰も寝てはならぬ」と③オペラ「喋々夫人」より「ある晴れた日に」さらに、日中文化交流会の総会にふさわしく中国の代表的な歌曲から、④「月亮代表我的心」孫儀詞/湯尼曲と、⑤「大海啊故乡」王立平詞/曲が演奏されました。豪快で勇壮、かつダイナミックな演奏、そして、美しくさわやか、小川のせせらぎのように流麗なタッチの曲な



鍛冶光子さんの自在なピアノ名演奏に酔いしれた一時間でした。昨年は、フルートの若月美香さんとピアノが深

谷順子さんの共演でした。毎年、このように記念演奏会が行われるということも福島日中文化交流会の魅力の一つです。



折りから「上海万博」の開催中とあり、総会の始めに当会顧問の高橋重夫さんが、上海の東亜同文書院留学中、同級生で現在、上海在住の同学の招きで参観してこられたみあげ話がありました。福島旧市内がスッポリはまるような万博会場の規



模の壮大さ、万博を通じて観る最近の中国の素晴らしい経済発展

の様子、日本展示館の人気や展示物の話、そしてすっかり洗練されてきた最近の中国の若者たちのマナーなどが紹介されました。今後、日中文化交流はますます楽しくなってきたきそうな、そんな期待を思わせるみあげ話でした。



本会の日中文化交流活動がいつそう楽しく実りあるものになりますように、みなさんと一緒にがんばりましょう  
(文責・猪股宗男)



# 上海万博 見学記

## 行列 々々も 一つの進歩か

世界中にホットな話題を送り続ける上海万博、去る6月それを駆け足で見学してきました。

参加国や機関団体の数は過去最大、半年の会期中に大阪万博を上回る7000万人を動員する目標など、北京オリンピックにつづいての大国家事業に、上海全体が燃え上がっているような空気さえ感じました。

上海市を東西二分して流れる黄浦江、有名なバンド（外灘ワイタン）から、10キロくらい上流に向かった両岸の広大な土地が会場です。一部は造船所の跡地利用とありますが、東京なら葛飾区か江戸川区あたりに相当するわけですから、やはり社会主義国ならではの思いを深くしました。

各国パビリオンのデザインの奇抜さや、花とパラソルで浮き浮きに装う場内道路、そこを無料の電気バスがスルスルと巡回する、世界中の食べ物、ショッピングまた好し……これらの紹介はマスコミ任せとして、万博全体から受けた私の感想を述べましょう。



会場行きのバスにながあーい行列

この万博見学は上海に住む昔の中国人同学が招待してくれたものです。人混みの中を歩くのは苦手なので、再三辞退したのですが、何度もぜひにと誘うので、女房を介添えに重い腰を上げました。

お互いよい年齢になり一期一会の思いが深まったことが一つ。もう一つは発展する中国の姿を友人に誇らしく披露したいとの気持、彼の電話の声からは、その熱い思いがストレートに伝わって来たからでした。



9時間行列になったサウジアラビア館

さて会場ですが、一日50万人以上も集まるのですから、至るところ人々、行列々々。8号ゲートまである会場入り口の一つに、私たちは1時間ほど並んでやっと入場。70歳以上の老人と身障者を優遇した専用行列でさえこれでした。

一般はうねうねと這わせたロープに沿って数千人、恐らく老人列の倍以上かかったでしょう。その群集が発するおしゃべりの大ハーモニーが、天井のテントに跳ね返って、ブブゼラ顔負けの物凄い地響き、これには圧倒されました。これこそ中国民衆のパワーそのものかと。

人気の各国パビリオンも、それなりの行列を覚悟しなければなりません。中でもサウジアラビア館が、9時間という行列時間の記録を作ったと、人民日報が伝えています。その記事によると、入場であれ乗り物であれ、割り込みの無い行列で秩序よく順番を待つ習慣を、中国市民が上海万博で身につけつつあるのは喜ばしいことだと。「押し合い、怒鳴り合い、われわれは過去になんと無駄なエネルギーを費やしてきたか」とその記事は結んでありました。

## ごく自然なエチケット

私の女房は会場の巡回バスに乗り込む時、慌てて舗道に転んでしまいました。ズボンの膝に穴が開き、膝頭が擦り剥け血も滲みました。その時乗り合わせた一人の中年中国女性、バンドエイドを2枚無言でさっと女房に手渡し、ろくにお礼も言わないうちに次の停留所で下車しました。周りから「大丈夫か？」と声がかかります。まるで爽やかな風がひと吹きすぎたような、一瞬の出来事でした。

今回私達は万博会場外のバスや地下鉄でも多くの人たちから、ごく自然に座席を譲ってもらいました。バンド（外灘）の公園も見違えるように整備され、うるさく付きまとう物売りは一切姿を消しました。また市内各所とも以前よりずっと清潔になったようです。

浦東の高層ビル群に新しい記録が加わりました。地上101階492m、鑿の刃を突き立てたような環球金融センターです。地下鉄網も10系統に増え、大抵のところは公共交通で用が果たせるようになりました。



古代の冠をイメージした中国国家館

こんどの見学で多くのことを学びましたが、眼に見えるものの変化よりも、公共生活を大事にする中国人の意識の変化を感じたことが、私にとって大きな収穫でした。ある意味では、都市に形成されつつある新市民層が、グローバル・スタンダード（国際的な価値観）に近づいて来ているように…。

騒がしい、汚なかった昔の中国は、急速に変化しつつあるのです。もちろん上海は中国きっての先端

都市であり、万博という国際ショーでは飛び切り“いい格好し”でもありましょう。だが何時までも昔の中国ではないということです。この変化を見落とし、単なる経済発展国という固定観念で中国に対することは避けねばなりません。刻々変化する中国の真の姿を正しく見つめる、私たちの日中文化交流活動は、こういうところに力点を置くべきではないでしょうか。

(高橋重夫 2010・7・7)



# どよの広場

恒例の「どよの広場」が、5月8日、午前10時～12時、中央学習センターで行われた。

当日中文化交流会の「チャイナ広場」の会場は、2階の和室。

いつもの大きな中国の地図や写真を飾り、子供達が興味を持ちそうな動物や物等(勿論、中国語表記!)の絵本をテーブルに並べた。そして、このところの目玉である「少数民族衣装」を、約20着程ハンガーに掛けてディスプレイ!!

お姫様気分になれたかなあ!?

お母さんやおばあちゃんと一緒に写真は撮ってもらい、皆それぞれに満喫していたようです。試着があったので、結果的には和室が良かったですね。



準備が整い、さあいつ子供達が来ても・!・・・ところが、待てども待てども、なかなか来ない。部屋が2階の端だから?などと不安になりましたが、40分程経ってから、ようやく初入場者現れたのです。それからは、それまでの心配をよそに次から次ぎとやって来ました。

一番人気は少数民族衣装の試着!!

当日来場児童は約25名、ほとんどが女子なので尚更です。色々なドレスを着ては鏡を見て大はしゃぎ!

お母さんが中国人や中国人の子供ももいて、中国語が飛び交う、正に「チャイナ広場」でした。お手伝い参加して頂きました高橋重夫さん・岩間真弓さん・大須賀ミチ子さん・安齋紀子さん、ありがとうございました。

(渡部千佳子)

# 中国語会話教室合同交歓会

中国語を学んでいて一番頼りになるのは勿論老師、そして共に学ぶ同学。だから何でも聞けるし、何時でも答えてくれる。しかし、教室の限られた時間の中では限界も有ります。また、教室も大きく分けて、入門班・初級班・中級班が木曜日と火曜日に開講されています。全ての班が参加自由ですし、色々な催し物で他の班の人達とも知り合いにはなっています。でも、中国語を共に学ぶ者として語り合う機会が必要だと、併せて学習意欲を無くさせるような今年の残暑を払うべく、中国語会話教室合同交歓会がさる8月29日（日）に福島三河南の“天空龍シェルドラゴン”で開かれました。

酒が飲める～  
酒が飲める酒  
が飲めるぞ  
～！  
中華料理で一  
杯・・・  
こりゃまた最  
高だね～～～



ピンイン・声調を楽に覚える方法は無いですか？」とか「会話練習で指名されると辛いです」などの本音も出てきますが、最後は「教室は楽しいです」「中国語は面白いです」だから「中国語会話教室は楽しい事が一番、楽しい事はどんどん取り入れよう」に落ち着きました。



全8品のお料理と紹興酒などの飲み物、そして皆さんのお喋りを楽しんだ交歓会もあっという間に3時間、最後は福島富士雄さんに締めていただき散会となりました。

天空龍シェルドラゴンさんには美味しい料理、飲み物、そして心の籠った接客で本当にお世話になりましたが、その日、最高のご馳走は皆さんとの楽しい会話、そんな交歓会でした。

(齋藤佐久男)

当日は、木曜日の岩間老師、火曜日の李老師をはじめ受講生・幹事の皆さん11名が参加されました。また、参加はされなかったのですが、受講生であり顧問の高橋重夫さんより多大なお祝を頂き、交歓会に花を添えていただきました。

福島富士雄さんの乾杯の後、本格中国料理にフランス料理の風味を加えた美味しい料理を頂きながら、まずは自己紹介。皆さん様々な会の活動を通して顔見知りでしたが、改めてお一人お一人の中国語・中国への思い、関わりを聞く事が出来、認識を深めました。料理も進み、お酒も進んできますと、「単語・



# 八宝飯を作ろう！



会員で古箏演奏家の叶根青さんから、おいしい八宝飯を作っていただきました。ドライフルーツが沢山入っていて甘くておいしいもち米できているケーキみたいなお菓子です。とっても可愛らしくて思わず八宝飯をうっとり眺めてしまいました。八宝飯は、八宝菜ではありません。中国語で“八宝”という意味は、色々な種類という意味です。八宝飯は、中国の南方地方の代表的な「年飯」(nian fan=正月料理)のひとつになり清代からこれが北方にも伝わり、今では全中国で食べられる慶事料理のひとつになりました。みなさん、レシピを見て八宝飯を作ってみてね！ (岩間真弓)

## 材料直径 13cm1 コ分

モチ米	300ml
砂糖	大さじ 3
ラード	大さじ 1
黒こしあん	150g
・ラード	大さじ 2
干しアンズ	適量
干しパイナップル	適量
ドレンチェリー	適量
アンゼリカ	適量
レーズン	適量
シロップ	
・砂糖	大さじ 3
・水	150ml
・水溶き片栗粉	適量
ぬり用ラード	適量

## 手順



- (1)モチ米は洗ってひと晩水に浸し、蒸す30分間位前にザルにあげて水気を切ります。
- (2)干しアンズ、干しパイナップル、ドレンチェリー、アンゼリカは適当な大きさに切り、レーズンと共に、ラードをぬったボウルに色どりよくはり付けておきます。
- (3)黒こしあんとラードを火にかけ、焦がさないようにツヤよく練り、冷まします。
- (4)固く絞った布巾に(1)を広げ、蒸気のあがった蒸し器で蒸します。(30～40分間)
- (5)すり鉢に入れて軽くつき、砂糖、ラードを加えて軽くつき混ぜます。
- (6)(5)を少量残し、(2)のフルーツに合わせるように入れ、中心に(3)を入れて、残しておいた(5)をのせ、表面を平らにします。
- (7)アルミ箔で蓋をし、蒸気のあがった蒸し器で、強火で蒸します。(40～50分間)
- (8)皿にふせて取り出します。
- (9)砂糖と水を合わせて煮立て、水溶き片栗粉でトロミを付けて、(8)にかけます。



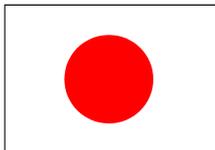
# 林枝・黄培蓉 結婚おめでとう！

会員の林枝君と黄培蓉ちゃんがこの夏結婚式を挙げました。  
幸せなお二人に乾杯！

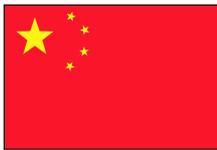


祝你们白头偕老、恩恩爱爱！





お知らせ



いつも福島日中文化交流会へのご支持とご協力感謝申し上げます。

平成 22 年度

会費及び各種会費納入未納の方へお願い

下記へよろしくお願いたします。

会費納入について

- (1) 郵便局振込みの場合(お近くの郵便局で)  
02220-7-105525 福島日中文化交流会
- (2) 銀行振り込みの場合  
振込先:普通預金 東邦銀行保原支店  
口座番号:733649  
名義人:福島日中文化交流会  
代表幹事 岩間真弓  
住所:〒960-0613  
伊達市保原町字内町 21-5
- (3) 会費について  
法人会員 10,000 円 個人会員 3,000 円  
中国人会員 500 円

### 中国語会話教室からお知らせ

#### ◎中国語会話教室第 37 期募集!

日時:平成 22 年 9 月～平成 23 年 3 月

(時間は各級による)

場所:福島市中央学習センター

内容:入門・初級・中級

費用:一ヶ月 3,000×6ヶ月=18,000 円

講師:李淑薇・岩間真弓

※一クラス分の授業料で 3 クラス受講可能

#### ◎高級班勉強会のお知らせ

日時:毎週木曜日 15 時～16 時

場所:福島市中央学習センター

内容:通訳ガイド試験、検定試験 1 級など

対象:レベルは検定試験準 1 級以上

#### ◎第 72 回中国語検定試験開催

日時:平成 22 年 11 月 28 日(日)

場所:福島テルサ

内容:準 4 級・4 級・3 級・2 級・準 1 級・1 級

你好!  
最近忙吗?



## 「当面の行事のお知らせ」

### 1 花架拳教室

日時:毎月第 2 日曜日(都合により変更もある)

場所:福島市中央学習センター

内容:護身術である花架拳を演舞する

費用:平成 22 年 5 月～平成 23 年 3 月

(11 カ月 8,800 円)

講師:日本花架拳学会 飯田加寿子



### 2 健康マージャン教室

日時:毎月第 2 日曜日(都合により変更もある)

場所:福島市中央学習センター

費用:1 年分 6,000 円(500 円×入会月から)

内容:吸わない・飲まない・賭けない健康なマージャン

### 3 日本語教室

日時:毎週木曜日 16:00～18:00

場所:福島市中央学習センター

#### 講師募集!

内容:中国人に日本語を教える

\*講師料はお支払いできません。教科書各自負担。



### 4 中秋節交流会

日時:平成 22 年 9 月 26 日(日) 14:00～

場所:福島市中央学習センター 1 F 和室

内容:月餅を食べて交流する

### 5 芋煮会

日時:平成 22 年 11 月 3 日(水)詳細は後ほど

場所:旧佐久間邸

内容:芋煮を作って試食し交流する

ホームページ見てね♪

アクセス待ってるよ～

ブログも書いてね!!

<http://www.rizhongwenhua.com>

### 《編集後記》

この度、私事多忙で編集が遅れましたことお詫び申し上げます。今回は、活動の他に中国のホッとニュースや身近な会員の方の話題をいただきました。ありがとうございました。今後も多くの情報や話題のご提供を宜しくお願いたします。

(編集:岩間真弓 印刷:斎藤佐久男 発送:安斎紀子)